

会議概要

会議の名称	第4回久喜市生涯学習推進会議
開催年月日	令和5年10月3日(火)
開始・終了時刻	午後2時00分 から 午後3時30分
開催場所	鷲宮総合支所5階 生涯学習施設「まなびすと教室」
議長氏名	宮内智(久喜市生涯学習推進会議議長)
出席委員(者)氏名	井上日出子、入江講児、折原憲司、影山悦夫、桐原宏、後藤悦子、坂本仁志、佐藤敏江、中村喜美子、野口和子、布施昌美、宮内智、山崎敏子、山田直子
欠席委員(者)氏名	明石實正、伊東堯司、加村和夫、杉村榮一、高橋久江、諸橋美津子
説明者の職氏名	野間口研道生涯学習課主幹、鈴木亮生涯学習課係長
事務局職員職氏名	小林幸司生涯学習課主幹、野間口研道生涯学習課主幹、鈴木亮生涯学習課係長、芦澤和季生涯学習課主事
会議次第	(1) 第2次久喜市生涯学習推進計画(まなびすとプラン2)の中間報告について (2) 第11回久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」の報告について (3) 第12回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について
配布資料	・次第 ・資料1 久喜市生涯学習推進会議委員名簿 ・資料2 令和5年度生涯学習関係事業中間報告書 ・資料3 第11回久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」報告書 ・資料4 第12回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」の実施概要(案) ・第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2) ・「まなびすと久喜」ボランティアの参加協力依頼について
会議の公開又は非公開	公開
傍聴人数	0人

審 議 会 等 会 議 録

発 言 者 ・ 会 議 の て ん 末 ・ 概 要	
芦澤主事	<p>皆さんこんにちは。定刻になりましたので、ただいまから第4回久喜市生涯学習推進会議を開催いたします。私は本日の司会を務めます、久喜市生涯学習課の芦澤と申します。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>本日はお忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。本日の出席者は、現在14名でございます。この人数は久喜市生涯学習推進会議条例第5条第2項の規定に基づきまして、委員の過半数の出席になりますので、当会議が成立することをご報告いたします。なお、本日は、明石委員、伊東委員、加村委員、杉村委員、高橋委員、諸橋委員が欠席となっております。また、本年度より新たに委員となった方が2名いらっしゃいますので、ご紹介いたします。久喜市内小中学校校長会より、布施昌美委員、久喜市内高等学校校長会より、山田直子委員です。マイクをお持ちいたしますので、一言ごあいさつをいただけたらと存じます。</p> <p style="text-align: center;">＜布施委員、山田委員あいさつ＞</p>
芦澤主事	<p>どうぞよろしく願いいたします。委嘱書につきましては、あらかじめ机の上に置かせていただきました。</p> <p>続きまして、会議に移る前に2点、皆様にご了承いただきたいことがございます。</p> <p>1点目は、会議の進め方についてでございます。久喜市審議会の会議の公開に関する条例に基づき、会議は原則公開とさせていただきます。公開の会議につきましては、傍聴の希望者がいれば、認めることとしております。なお、本日の傍聴者は今のところおりません。</p> <p>2点目は、会議録の作成についてでございます。会議録は概ね1ヶ月以内に公文書館閲覧室への配架及び市ホームページで公開することとしております。会議録作成のため、現在録音をさせていただきます。この録音の際に音声を拾いやすいように、発言の際にはマイクを使用させていただきますようご協力をお願いいたします。事務局職員が発言する方のもとに、マイクをお持ちしますので、発言はマイクが到着するまでお待ちください。</p> <p>では本日の資料を確認させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">＜資料確認＞</p>
芦澤主事	<p>それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。</p> <p>まず初めに、宮内議長からごあいさつをいただきたいと存じます。</p>
宮内議長	<p>＜宮内議長あいさつ＞</p>
芦澤主事	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、小林生涯学習課主幹からごあいさつを申し上げます。</p>
小林主幹	<p>＜小林主幹あいさつ＞</p>
芦澤主事	<p>それでは議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、久喜市生涯学習推進会議条例第5条第1項の規定により、宮内議長をお願いいたします。</p>
宮内議長	<p>それでは着座にて失礼いたします。皆様のご協力いただきまして、しばらくの間議長を務めさせていただきますので、よろしく申し上げます。</p> <p>初めに、議事（1）「第2次久喜市生涯学習推進計画（まなびすとプラン2）」</p>

の中間報告について」です。事務局からご説明をお願いしたいと思います。

鈴木係長

はい。改めまして皆さんこんにちは。生涯学習課の鈴木と申します。どうぞよろしくいたします。私から、第2次久喜生涯学習推進計画（まなびすとプラン2）の中間報告についてご説明させていただきます。着座にて失礼いたします。

それでは、右上に資料2と書かれているもの、併せて、第2次久喜生涯学習推進計画をお手元にご用意いただければと思います。

本日お配りしました、第2次久喜生涯学習推進計画は令和5年3月に策定いたしました。今回が今年度初めての生涯学習推進会議ということで、委員の皆様にご配布をさせていただきました。改めて、久喜市生涯学習推進計画についてお話しさせていただきます。

こちらは、第2次とありますように、この計画の前段のものがございます。まず、平成25年度から平成34年度までの10年間の計画として策定しまして、ただ、10年間の計画になりますので、平成29年度と30年度の間に見直しを1度行いました。ですので、平成25年度に策定し、平成29年度に一度見直しを行い、そして10年経過した後、今回の第2次久喜生涯学習推進計画を策定したということになります。

この計画は、もともと平成25年度に「市民がつくる まなびのまちづくり」を基本目標として、久喜市生涯学習推進計画を策定し、「まなぶ、いかす、つなぐ、ささえあう生涯学習」をテーマに推進をしてきました。しかしながら、時代の変化とともに本市の取り組みの成果や課題に変化があり、平成29年度に一度見直しを図りました。その後、学習機会の充実や学習成果を生かす環境づくり、学習情報の収集発信、相談体制の充実と取り組みを行ってきたところです。

そういった中で、第2次久喜市生涯学習推進計画はこれまでの計画を継続し、令和4年3月に実施した久喜市生涯学習推進計画に関する市民意識調査の結果から、久喜市の生涯学習の現状や課題を新たに把握させていただき、本市の生涯学習を推進するための今後の方針や施策を策定しております。

今回、第2次久喜市生涯学習推進計画の中間報告をまとめたのが資料2になります。7月31日現在のものです。関係各課の様々な事業を掲載しております。また、その施策に対する課題や今後の方向性を併せて記載しております。

このように、様々な事業を通しまして、久喜市の生涯学習についての生じた課題、問題点等を解決し、推進していくことがこちらの計画の目的になります。

中間報告ですが、市の各課の事業が多岐に渡りますので、私どもでは回答できない部分があるかと思えます。もし委員の皆様からご意見等がございましたら、私どもが担当課に報告等をさせていただけたらと考えております。

また、第2次久喜生涯学習推進計画の15ページをご覧ください。4「成果指標」と目標を設定しております。こちらの成果指標は、令和9年度に生涯学習をしている市民の割合が25%ということで、設定をさせていただきました。令和4年3月に実施した市民意識調査では、「生涯学習をしている」とご回答いただいた割合は、18.4%と2割に満たない結果で、「生涯学習をしていない」とご回答いただいたのが79.0%と8割弱といった結果でした。ただ、こちらは生涯学習というものの捉え方によって、結果が変わってくる部分もあると思えます。

例えば、生涯学習といえば、学習活動はもちろん、文化活動やスポーツ活動、ボランティア活動も該当してきます。もしかしたら、このアンケートを見た方で、例えばスポーツ活動は生涯学習活動ではないのではないか、と思い「生涯学習をしていない」と回答された方もいるのではないかと思います。

こういった状況で、令和5年度から令和9年度にかけての成果指標として、「生涯学習をしている市民の割合」を25%に設定させていただいております。

令和9年度には、また市民意識調査を実施させていただきまして、同じように質問項目を設けて、今回のこの計画の達成度を図っていきたくて考えております。市民意識調査は毎年度できるものではありませんが、それとはまた別で、例えばインターネットによるアンケートであれば、毎年などもっと短い期間で実施することが可能だと思いますので、そちらも検討していきながら令和9年度にま

た、市民意識調査を行いまして、生涯学習をしている市民の割合を見ていきたいと考えております。私からは以上になります。

宮内議長

ただ今、事務局から中間報告についてご説明がありました。本日、皆様のお手元に配布しましたので、すべてを確認するのは難しいかと思えます。例えば、資料2の1番最初に「ママ・パパ教室」とありますが、これは計画の17ページに、順番に記載されていますのでご覧ください。

また、44ページをご覧になっていただきますと、この計画の推進のイメージ図があります。計画を策定して実行し、それに対して久喜市生涯学習推進会議と久喜市生涯学習推進部等で評価をすることとなっております。今回の中間報告は成果と課題が記載されております。様々な部署事業について記載されておりますので、皆様からご意見をいただきたいと思えます。入江委員。

入江委員

前回の時も目標25%でいいのかと話がありました。私この会議に出席させていただいて、いろいろなことがわかってきました。目標ですが曖昧に感じるのですよね。25%というのももっと明確にしてアンケートをしないといけないのでは。では、どう明確にするのかというのは今もまだ出てこないですね。それが1つ。

もう1つが、今、第2次久喜市生涯学習推進計画の17ページについてです。ここの内容は手段ですよね。目的ではないのですよ。ここも非常に曖昧です。もっと、どういう目的で実施して今の中間報告はこうなっている。それが目的に対するチェックです。その最初の目的がないから、課題のばらつきがかなりあります。最終目的も書いてありませんが、この課題を取り組んだら目的は達成できるのでしょうか。本当にこれでいいのかという気がしてならないです。

もっと言うと、市の水道事業が出しているデータによると、あと40年後には久喜市が人口73%になる。それに伴い税収も減り、いろいろ課題がでてきます。そうなった時に、久喜市全体が一緒になって、同じベクトルで同じ目標を持っていかねばいけぬタイミングだと思えますし、今じゃないとできないと思うんですね。

ところが、マラソンをやったらいいといったいろんな意見が出たりして、どうもベクトルが違うのではないかと。この計画にしても、市の目的とベクトルを一緒にしないといけないのだと思えます。それがどうも曖昧に感じます。こんな立派な冊子も作成して経費も時間もかかっているのに、もっとそのあたりは真剣に考えていただきたいと思えます。

宮内議長

はい。ありがとうございます。今お話がありましたとおり、25%で良いのかという話や、市の目的は何か曖昧なところあるのではないかとのお話もあります。事務局から何かご回答ありますか。

鈴木係長

はい。ご意見ありがとうございました。

入江委員

マスクを外して話してください。

鈴木係長

目的につきましては、「第4章 基本目標の展開」という項目で、それぞれの事業でどういった内容が行われているのかというのを示させていただいているところでございます。

目標の25%については、昨年度、検討している時点ではもう少し高い目標でいいのではないかと話もありました。ただ、現状の割合を考慮して、この25%という数値に設定させていただきました。また、先ほどアンケートの話で、生涯学習というものがさまざまな活動に該当する、しないということについてですが、例えば、次のアンケート時に生涯学習活動というのは、こういったものやこういったものも含まれますと解説することで、項目を変えすぎると、回答率が変わってしまう可能性もありますので、今後、成果指標の達成度を図るための市民意識調査を実施する際には、こういった方法が好ましいのか検討

しながら進めていきたいと考えております。

宮内議長

今、事務局からご説明がありました。目標が25%については、最低でも4分の1の方にはして欲しいということで結論が出たのだと思います。いずれにしても、どんどん推進しなくてはいけないというのはもちろんのことですし、生涯学習というのはどういうものかっていうことを皆さんに知っていただく必要があると思います。今回は7月31日現在の中間報告となっております。本来であれば9月末までの報告になりますが、今回の会議のために現在の状況を皆様にご説明しようということで、今回の報告書が作られております。なかなかすべてを見ることは難しいかと思いますが、確認をお願いいたします。後藤委員。

後藤委員

説明いただきありがとうございます。私が話している声が皆様に聞こえづらいですか。いかがでしょうか。少しマイクが遠くて、今、事務局が話してくれたことが半分ぐらいしか聞き取れませんでした。

久喜市も合併して10年以上経ちました。久喜市で実施した人権のつどいも参加させていただきました。お祭りは4地区でやっております。入江委員もおっしゃったとおり、いつになったら4地区が心1つに合わせていろんな事業ができるのかなど。私はそれ望んでいるのですが、ただ地理的にも遠くなりますからね。例えば菖蒲の栢間から栗橋までですと、車でも1時間程かかりますしね。

そういった中で、来年の1月の二十歳の成人式は、久喜と鷺宮が一緒の会場で、3会場で実施するとのこと資料2を見させていただきました。

ただ、今日来てこれ全部目を通すというのは不可能なので、私が目を通したところだけ発言させていただきました。合併して10年以上経ちますので、そろそろ4地区一緒にいろいろ事業をやれたらなと思っております。以上です。

宮内議長

貴重なご意見ありがとうございます。4つの地区についての話は、後ほどまたご説明します。

すべてをご覧になっていただくのは無理だと思いますので、事務局はお忙しいと思いますけども、今度の会議は事前に資料を送付いただくようよろしくお願いいたしますと思います。

報告書の152番で「生涯学習施設『まなびすぽっと』自主事業の充実」とあります。ただ、現在は市民大学、高齢者大学、そして生涯学習推進部が主に使っている状態であって、なかなかこちらの施設の利用頻度が少ないかなと思っております。この施設に来るのに、鷺宮駅や東鷺宮駅から徒歩だと時間がかかってしまいます。交通の便を良くするなどしていただきたいものです。皆様もせっかくできたこの施設を活用していただければと思います。野口委員。

野口委員

菖蒲地区の野口と申します。私はゆうゆうプラザに携わっておりますので、意見を述べさせていただきます。三箇小学校のゆうゆうプラザは、14年間ぐらい月曜と土曜に実施してきました。ここにきて土曜の講座を徐々に減らしていくことを言われたことがあります。土曜日だと、学校の先生が出勤してこないといけないからだと思います。いつかは土曜の講座は出来なくなってしまうのかなと思っております。もう14年以上三箇小学校は月曜と土曜で実施していましたが、今回、年間8回ある土曜の講座を1回減らして7回にしました。今後、土曜の学校の利用についてはどうなっていくのかなと感じています。

宮内議長

私も久喜小学校のゆうゆうプラザのサポーターをやっていて、久喜小学校の場合は木曜日に月2回実施しています。今、野口委員のお話のように、土曜日の学校の利用については、布施委員いかがですか。

布施委員

はい。ありがとうございます。学校応援団、ゆうゆうプラザ、地域の方々、PTAの方々と、地域の方に支えられながら学校運営を進めていますが、ゆうゆうプラザの開催については、学校と地域の方が話し合いをさせていただいての学校開放となります。本校は月曜日のみの開催でやっておりますが、なかなか保護者

に対して、子どもたちがこんなに楽しい活動しているというのを伝えることができている状況ですので、土曜講座もあつたらいいなと思っています。ただ、そこは鍵を開けたりですか、管理職の負担になってしまいますので、やはり学校の先生と相談になるかと思います。

宮内議長 ありがとうございます。各学校でいろいろな諸事情があると思います。土曜日や日曜日は運動場を野球の団体などが使っていますし、体育館あるいは教室を使うとなると、学校の許可が必要になりますので、学校と地域の方がお話しただけならと思います。

野口委員 すべての学校の土曜日の使用について、運営委員会で決まったりするのですか。

宮内議長 ゆうゆうプラザの全体会議に出ていないので分かりかねます。

野間口主幹 生涯学習課の野間口と申します。事務局として答えられることをお伝えしようと思います。今、野口委員がおっしゃったことは、まさに全体の問題でもあります。もちろん、私たちから土曜にやってくださいとは言えないのです。ただ、工夫しているところがありましたので、それを紹介させていただきます。栗橋南小学校のゆうゆうプラザなのですが、土曜は完全に学校と離れて実施しております。近くの施設を利用して活動しております。ですので、学校の先生が来て、鍵を開けるといった問題もありません。ただ、その施設を予約するのに、私たち事務局に連絡をいただいて施設の予約をしています。また、実施委員長の方に「土曜来て大変ですね」とお話をしたところ、実施委員長もその日は行かないそうです。その日はもう講座の方たち、地域の方たちが子ども達を見るところです。そういった工夫をしているゆうゆうもありました。11月20日に情報交換会というのをを行います。そこで皆さんのご意見を聞いて、より良いものにしていくと考えております。

宮内議長 はい。ありがとうございます。その他いかがでしょうか。折原委員。

折原委員 折原でございます。資料2の8ページの「本多静六記念館」についてです。ご存知の方も多くいらっしゃるかと思いますが、全国初の林学博士である本多静六博士ですが、いくつか功績があります。日比谷公園のことや神宮外苑の森を設計して、隈研吾さんが何とすばらしい森だとおっしゃっていました。最近だと神宮外苑の森に対する曲でチャート1位になったサザンオールスターズの「Relay〜杜の詩」というものもあります。埼玉県三大偉人と言われている渋沢栄一、塙保己一、荻野吟子に並んで功績を残した偉人であります。この郷土の偉人の記念館をもっと知っていただければと思います。

宮内議長 今、折原委員の方からですね、菖蒲総合支所にある本多静六記念館のことで話がありました。今後、本多静六の記念の公園もつくるという話もあります。皆さんも勉強していただけたらと思います。

折原委員 人口流入に起因する施設だと思しますので、本多静六博士の功績を市民の方々に伝えていただくことを今後期待します。

宮内議長 他にいかがでしょうか。影山委員。

影山委員 このような会議に出席したら、必ず一言は発言しようと思っております。この会議の趣旨に沿っているかどうかわかりませんが、発言させてください。話は少し逸れますが、先日、太田市とさいたま市のスポーツ施設を見に行かせていただきました。太田市は今、体育館施設の壁をイルミネーションのようにしたり、外国から取り寄せた大きなスクリーンを設置したりして、体育館施設に80億円か

けているとのこと。また、さいたま市のサイクリングイベントである「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」に関わっている職員が何とたったの25人です。25人で国際大会を開催しています。

何が言いたいかというと、このようなことを実施するには、お金と人が深く関わってきます。

例えば、太田市の場合、80億円というのは、企業から相当の寄付でお金を集めているのだと思われます。

さいたま市は25人の関係者以外にも、企業に人材を求めたり、観光課に人材を求めたりですとか、多種多様なところに人の確保に動いております。実際は、25人の職員の中でも深く関わっているのは5、6人なのだそうです。私もいろいろな行事に関わらせていただく中で、生涯学習課の皆様も非常に苦労があるかと思えます。

皆さん、資料2の11ページご覧になっていただけますか。私自身スポーツに関係するものに関わらせていただいて79番から83番までの事業で、初めて聞いたなっていうものがありますか。例えば「よるこびのまち久喜マラソン大会」は川内優輝さんといった著名人が出るので知られていると思います。一方、「くき健康ウォーク」は、まだ申し込みが30組なのです。それなりの予算は、市として確保しているのですが、10月15日にやるのに、30組しか応募していない状況です。なぜ少ないかというとPRが少ないのが1つ挙げられます。あとは語弊があるかもしれませんが、地域性というのもあるかもしれません。

同じようなイベントを実施しても、他の市町では何百人、何千人と集まるのですね。くき健康ウォークでネックになっているのは、1人500円という参加費になります。これが無料だったら、もっと人は集まるのではないかと思います。家族4人で出ると2,000円になります。家庭を圧迫しているのではないかなと思います。

結局のところ何が言いたいのかというと、告知の方法をもう少し考えたらどうなのかなと思います。ただ、私もまったく良い案が思い浮かびません。

広報くきを隅から隅まで読む人って何人いますかね。広報に載せれば良いというわけではないと思います。資料2を見ると200以上の事業がありますが、その中のいくつかは市民が興味を持ってくれるものもあると思います。どうかして市民の皆様に、こういうことをやっているよと周知できる方法を考えております。

例えば、スポーツでいうとインスタグラムを利用しております。ただそのインスタグラムも、どの年代が見るのでしょうか。もう少し深く考えていかなければいけないのかなと常々思っているのですが、私には具体的な良い案がありません。

うまくまとまりませんでした。このような会議では必ず発言しようと思っ

ているので発言させていただきました。以上です。

宮内議長

はい。ありがとうございます。今、スポーツの関係について、影山委員からお話がありました。PRや告知について、また広報くきをどのくらいの方が読んでいるのかはわかりません。PR方法等については考えていただければと思います。

他にいかがでしょうか。こちらの中間報告につきまして、何もなければ終了とさせていただきます。また何かありましたら、生涯学習課にご提案、ご質問していただけたらと思います。

それでは、続きまして、議事(2)「第11回久喜市生涯学習研修大会『まなびすとフォーラム』の報告について」事務局からご説明をお願いしたいと思います。

鈴木係長

それでは第11回久喜生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」の報告についてご説明をさせていただきます。資料3をご覧ください。

こちらは令和5年6月10日土曜日に、鷲宮総合支所5階の生涯学習施設で実施させていただきました。

大会テーマを「あなたにとって久喜のまちづくりとは」としまして、多くの皆様にお集まりいただきグループ討議をしていただきました。市民の皆様に意見交換をしていただいて、その後、発表を行い、施策に生かしていくことを目的として実施しました。

コロナウイルスの関係で数年ぶりの開催となりました。また、今までは市内高等学校の施設をお借りして実施していましたが、今回、こちらの生涯学習施設が新たに整備されたため、初めてこちらの会場で実施しました。当日は、大きな混乱もなく、無事に実施できたのかなと考えております。

報告書の3ページになります。白黒で少し見にくいのですが、討議風景になります。また4、5ページは、各グループで討議中に出てきたキーワードの要約になります。参加者の方から出た意見で、「今回グループ討議をして、いろんな意見が出てそのまま終わってしまうのではなく、その市の施策に繋がるようにしたほうが良い」という意見がありました。

6ページでは、先ほど後藤委員からもありました、「合併後10年以上経つが、その一体性がない」というご意見も同様にありました。また、4地区の行政面積がかなり広く各地区を結ぶ交通手段が少ないという意見もありました。8グループ中5グループから交通手段に関する意見が出る等、市民の皆様もいろいろ感じているのかなと思ったところでございます。

また、こちらの報告書を市の各課に情報提供することで、課題等が解決に向かうよう努めていきたいと考えております。報告については以上になります。

宮内議長

はい。ありがとうございます。まなびすとフォーラムにつきましては、こちらの会場で実施するのに人数を絞ってやろうと思っていましたが、申し込みがかなり多く、96名でした。初めての方が多かったのですが、皆さんに満足していただいたので結果としてはよかったと思っています。

先ほど、後藤さんからお話ありましたように、合併して10年以上経つけれど市としての一体感がないという話題もでておりました。あとは交通手段や公共施設の問題も話題として挙がりました。15万人都市としてもっと何かできないのかという話もありました。

それにつきましては、先ほど事務局からお話ありましたように、出た意見については、市にお伝えしております。こういった意見が市民の方から皆さん出ますよということで、各部に伝わっているかと思えます。

ただ、今回まちづくりということで、少しテーマが大きかったかなとも思います。もっと交通の便とかに絞ってできたらなと反省はあります。いずれにしても、このフォーラムについては、今後もいろいろ皆さんのご意見を聞いて実行していきたいと思えます。よろしくお願ひしたいと思えます。

こちらについて何かご質問、ご意見がありましたら、よろしくお願ひします。
桐原委員。

桐原委員

このまなびすとフォーラムの報告書をインターネットで見ってみました。本日の資料と同じものがPDFとして掲載されています。問題がいくつかあるかなと感じました。

私は昨年、IBMコミュニティの研究チームで「ITを活用した教育機会の格差是正」というテーマで研究しました。その中でPDFの活用性についても検討したことがあります。PDFに書かれているキーワードをインターネットで検索すると、文書のURLはヒットするのですが、必要なキーワードが書かれている場所がわからないわけです。ダウンロードした報告書全体の16ページを丹念に見ていくと必要ヶ所が見つかります。他の地域の方で、久喜市のまなびすとフォーラムに興味を持ってくださった方が記事を見たいと検索した結果、検索キーワードの記事の場所にたどり着くのは至難の技です。大概は探すのが面倒くさいとなってやめるのが普通の行動かと思えます。

役所や学校の資料はPDFで掲載することが多いのは承知していますが、皆さんがアクセスしやすいようWebページで直接掲載すれば、目的のページにすぐ

たどり着けるのでこの方法が良いと思います。このまなびすとフォーラムの報告書だけではなく、一般公開しているすべての情報に言えることだと思います。皆さんにアクセスしていただき、容易に活用できるような工夫が必要かなと感じます。

もう1点です。この報告書の中にキーワード集のページがございます。PDFで見るとこのページが横になっており、見る人の立場に立った構成ではないように思います。印刷をして見る人にとっては問題ないのかと思いますが、今や大多数の人は印刷などせずに直接画面で見るので、A4横書きのページは横のままPDF化していただければ拡大して必要な部分を見ることができます。

そういった配慮をしていただくことで、身近な広報になっていくのではないかと思います。以上です。

宮内議長 　ただ今、桐原委員からPDFで作られている資料が見つらい箇所があるとの意見がありました。事務局何かございますか。

鈴木係長 　ご意見ありがとうございます。PDFではなくてWebページに載せるということでしょうか。

桐原委員 　PDFで作るのではなくて、Webページで作ったらいかがですかというのが提案です。

鈴木係長 　わかりました。そういった部分を今後どういった方法がよいのか検討させていただきたいと思います。

桐原委員 　ちょっとした工夫で直りますから、PDFのページ組みも横になったままでは避けていただければと思います。

宮内議長 　皆さんが見やすいものを作成していただけたらと思います。他にいかがでしょうか。後藤委員。

後藤委員 　私は今回参加できなかったのですが、高校生の参加していたのですか。

宮内議長 　高校生は6名参加していただきました。

後藤委員 　前回までは、久喜北陽高校とか鷲宮高校の高校生といった学生の皆さんもたくさん参加していただきましたよね。私たち高齢者には思い浮かばない、いろんな意見を参考にさせていただいてすごくいいなと思いました。ただ、この生涯学習施設でやるのも少し狭いし、もう少しいいところがないかなと思っている次第です。以上です。

宮内議長 　はい。ありがとうございます。前回までは、市内の各高校で順番に実施して、200名以上の方に参加していただいてやってきました。今回からせっきこの生涯学習施設があるので、ここでやってみようという人数を絞って実施しました。発表は高校生がやったチームもありました。高校生や大学生、そして一般の方、高齢者の方といった幅広い意見を取り入れることがまなびすとフォーラムの1つの目的にしております。今後も高校生にも参加いただき実施していきたいと考えております。

こちらの報告書を読んでいただきまして、キーワード集や出た案は、先ほど申し上げたように市関係各課にご提案をしていますので、今後どのような形で反映されるかはわかりませんが役立てていただければと思います。

他に何かなければ、続きまして、議事(3)「第12回久喜市生涯学習推進大会『まなびすと久喜』について」、事務局からご説明お願いしたいと思います。

鈴木係長 　はい。それでは続きまして、資料4についてご説明させていただきます。こちら

は、第12回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」についてです。開催趣旨といたしまして、市民に広く生涯学習の楽しさや素晴らしさを体験していただくと共に、日頃の学習活動の成果を発表する場とすること。また、一緒に学ぶ喜びを通じて、市民の生涯学習意欲を喚起し新たな「まちづくり創造」へ寄与することとなっております。

開催時期は、令和6年3月3日の日曜日を予定しております。例年ですと、2月の第1日曜日で実施しておりました。今年度も当初は2月を予定していましたが、この建物がエレベーターの改修工事と時期と当たってしまい、エレベーターが1台しかできないという状況になりました。このエレベーター改修工事が終わった3月に実施をさせていただくという経緯になります。

実施内容についてです。前日は実行委員による会場準備になります。まなびすと久喜自体は令和6年3月3日に1日開催をいたします。この5階の生涯学習施設を利用し、発表会や展示を実施します。また、4階の会議室を使用しまして、展示や体験コーナーを設ける予定でございます。5階にはふれあい喫茶というコーヒー等が飲めるスペースも用意する予定です。

裏面をご覧ください。イベントの配置案になります。資料の上が5階の図、下が4階の図になります。他には、5階は生涯学習推進部や市民大学、高齢者大学の展示があります。また、4階会議室通路にはゆうゆうプラザの活動状況を紹介するパネルの展示をする予定です。

資料の表面に戻っていただき、運営組織についてです。生涯学習推進部委員や生涯学習推進会議委員、市民大学の学生で実行委員会を組織し実施します。

今後、実行委員会や幹事会を実施し、当日の開催について検討して参りたいと考えております。こちらについては皆様にもご協力をいただくこともあるかと思っておりますが、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。私からは以上になります。

宮内議長

はい。ありがとうございます。実行委員につきましては、広報くき9月号で、10月6日まで募集しております。それから、発表会や活動展示については、広報くき10月号で募集をしております。ポスターについては、市内のコミュニティセンター、菖蒲文化会館、栗橋文化会館等に掲示しております。

ボランティアについては、市民大学、高齢者大学は社会教育指導員の方をお願いしております。中学生、高校生のボランティアについては、鷺宮地区を中心に後ほど訪問してお願いする予定です。

昨年度は初めてこちらの生涯学習施設で実施しました。従来は各地区で実施していたのですが、今後はこちらの施設で、できる範囲で準備を進めていきたいと思ひます。

また、本日配布させていただきましたとおり、皆様にもボランティアの参加依頼をさせていただきましたので、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。10月6日が締め切りとなっておりますが、過ぎて大丈夫ですので、興味ある方は生涯学習課までご連絡ください。

まなびすと久喜について、何かご質問やご意見がございましたらお願ひします。よろしいですか。ぜひ皆様にもボランティア参加として参加いただきまして、盛り上げていただければと思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それではすべての議事が終了しましたので、議長の任を解かせていただきます。皆様のご協力ありがとうございました。

芦澤主事

宮内議長ありがとうございました。

それでは「4 その他」でございます。その他委員の皆様から何かございませうか。

では、長時間にわたりご協議ありがとうございました。次回の会議につきましては、決まり次第ご連絡させていただきますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

なお、本日の会議録は事務局で作成し、議長に署名をいただいて、公開させていただきます。

それでは閉会にあたりまして、影山副議長、ごあいさつをお願いいたします。

<影山副議長あいさつ>

芦澤主事

それでは会議を終了させていただきます。お気をつけてお帰りくださいませ。
皆様ありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和5年10月27日

議長 宮内 智